

4 本県の経済を支えるインフラの整備等について

(2) 国際バルク戦略港湾福山港の機能強化について

(国土交通省)

提案の要旨

国際バルク戦略港湾に選定された福山港について、企業の国際競争力に資するよう必要な施策等の推進

現状及び課題

- 広島県は、重厚長大から先端分野までの幅広い産業集積により、製造品出荷額等が平成23年度には、約8兆6千億円で全国の3%を占める中四国以西最大の工業県である。本県が、将来にわたって経済活動を支え、安定的な経済成長を支援するためには、港湾・空港・高速道路等といった物流・交通ネットワークの強化が不可欠であり、このうち港湾においては、国際バルク戦略港湾に指定された福山港における物流機能の充実に努めている。
- 福山港に立地するJFEスチール(株)西日本製鉄所は、粗鋼生産量が国内最大であり、我が国の「ものづくり産業」に欠かせない基礎素材の代表である鉄を安定的かつ安価に供給している。
一方、中国をはじめ東アジア地域の製鉄所の目覚ましい躍進を受け、海外企業との競争が激化するなか、国内企業の国際競争力の強化を図るためには、大型船による一括大量輸送に対応することが必要である。
- 福山港に至る備讃瀬戸北航路に、計画水深19mが確保されていない区域があることや、福山港本航路の水深が十分に確保されていないことから、瀬戸内マックスと呼ばれる最大船型20万トン級の船舶が満載入港できていない。
- また、今年に入り、備讃瀬戸航路の漁業活動による航路閉塞が大幅に増加し、滞船による物流コストの上昇や、企業の計画的な生産活動に支障が生じている。
- このため、瀬戸内マックスの満載入港ができるように、備讃瀬戸航路の水深の確保や航路閉塞の解消等、国家戦略として企業の国際競争力強化に資するよう必要なソフト・ハードの総合的な対策を講じる必要がある。

平成26年度概算要求等の状況

【国際バルク戦略港湾の取組状況】

- ・平成22年8月3日 国際バルク戦略港湾に福山港を応募
- ・平成22年11月19日 投資効果の波及・増大を図るため、水島港と連携提案
- ・平成23年5月31日 国際バルク戦略港湾に福山港・水島港が選定
- ・平成25年7月22日 福山港港湾計画の変更（本航路の水深18m化）の公示

【平成26年度概算要求状況】

港湾整備事業（全国枠国費）197,629百万円（対前年度比116.5%）

提 案 の 内 容

国際バルク戦略港湾に選定された福山港について、国家戦略として企業の国際競争力に資するよう必要なソフト・ハードの総合的な対策を講じるとともに、港湾法に基づく「特定貨物輸入拠点港湾」への支援措置の拡充を図り、選定港（福山港・水島港）を指定すること。

- 開発保全航路〈備讃瀬戸北航路〉の計画水深 19mの確保
- 開発保全航路〈備讃瀬戸航路〉の漁業活動による航路閉塞の解消
- 船舶の運航効率改善に係る規制緩和等（余裕水深緩和，潮位利用）
- 企業及び地方の負担を軽減する新たな制度設計
- 福山港本航路を水深 18mに整備



瀬戸内海地域の産業全体の競争力の強化，ひいては，わが国産業全体の底上げに資することが可能であることから，国策にふさわしい事業スキームの構築

＜航路水深の確保＞

瀬戸内マックスの満載入港を可能とするため，航路水深を確保する

- ・ 開発保全航路（備讃瀬戸北航路）の計画水深 19mの確保
- ・ 福山港本航路を水深 18mに整備

＜航行の円滑化＞

船舶の通行を確保するため，利用調整を図る

- ・ 開発保全航路（備讃瀬戸航路）の漁港活動時期の航路外航行の特例措置
- ・ 漁業活動による航路閉塞の抜本解消

＜航行規制の緩和＞

船舶の運航効率改善のため，航行規制の緩和を図る

- ・ 余裕水深緩和，潮位利用緩和による航行時間の拡大